



院長
伊藤 真理子
プロフィール

真理子先生の

女性の



胎児と羊水

子宮の中で胎児はどのように育つのでしょうか。

羊水の役割とは？

子宮の中で胎児は羊水と呼ばれる液体に囲まれて育ちます。羊水の役割はひとつはクッションで、お母さんが転んだりした時も衝撃が直接は伝わらず、赤ちゃんを守ってくれます。

また赤ちゃんは妊娠3カ月ぐらいから羊水の中で手足を動かすようになり、プールのような運動場の役割を果たします。

胎児は肺呼吸の練習

そして最も重要な役割

は胎児の肺の機能をはぐくむことです。妊娠時期が進むにつれ羊水を飲みだり排出したりを繰り返すようになり、肺呼吸の練習・準備をするようになります。そして胎児のこうした行動から何らかの異常が予知できます。

羊水過多と羊水過少

そのひとつが「羊水過多」で、文字通り羊水が多くなり、その量が800ミリリットルを超える状態です。お母さんに原因がある場合もあります。胎児の吸収する量が減っている可能性があり、腸が閉塞（へいそく）していたり、消化器系や神経系の

異常が疑われます。

その逆が「羊水過少」で、羊水量が100ミリリットル以下の状態です。胎児の腎臓の働きが弱く尿が作られないケースが疑われます。

破水

膣から羊水が流出する状態が「破水」で、卵膜が破れた状態です。膣のおりものは通常は酸性ですが、破水なら流れる液体はアルカリ性で、妊娠中起きやすい尿漏れとの区別も可能です。

逆子と横位

胎児は妊娠途中までは

羊水の中をクルクル泳ぎまわり、向きも頻繁に変わります。9カ月ごろには頭を下にするようになり、頭から生まれるのが理想的ですが、「骨盤位」、いわゆる逆子（さかむね）もあります。逆子の場合、最近帝王切開での出産を選ぶ人が多いようです。

このほか胎児が横向きになっている「横位」などもあります。胎児の首に臍帯（さいたい）が巻いていなければ「骨盤位体操」膝胸（ひざむね）位（けい）を行い、頭位に戻ることを目指します。

横位

骨盤位

骨盤位

骨盤位

骨盤位

骨盤位

骨盤位

骨盤位

骨盤位

骨盤位

骨盤位

